

令和2年7月13日

保護者の皆様へ

愛知県立稲沢高等学校
校長 山本 真由美

新型コロナウイルス感染症および熱中症への対応について

盛夏の候 ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校の教育活動に格別の御理解と御協力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、県教育委員会から教育活動の実施等に関するガイドラインについて通知がきました。つきましては、本校では、下記のとおり対応を変更しますので、取組への御理解・御協力をよろしくお願いいたします。

記

1 登下校時

- (1) 家庭で検温し、風邪症状がみられる場合は登校しない。
- (2) マスクを着用して登下校する。ただし、熱中症のリスクもあるため、人と十分な距離を確保できる場合は、マスクを外してもよい。

2 登校後

- (1) S T時に検温の確認と健康観察を行う。
- (2) エアコン（冷房）のある教室での授業は、常に換気（対角線上の2方向を開ける）をしてマスクを着用する。ただし、エアコン（冷房）のない教室での授業や体育等の実技を伴う授業では、熱中症への対応を優先し、マスクを外してもよい。ただし、マスクを外している場合は必要な発声を控え、声を出す必要があるときはマスクを着用する。また、近距離での会話を控えるようにする。
- (3) 座席をできるだけ離し、最前列と教卓の間隔を開けるなど、生徒と教職員との間に十分な身体的距離（できれば2m、最低1mとする）を確保する。
- (4) 体育の授業では、密集せず距離を取った運動を行い、一人一人の間隔が2m以上空けていればマスクの着用は特に必要としない。また、授業前後の更衣後は、必ず手洗いを徹底する。体操服は持ち帰り、洗濯をして清潔に保つように促す。
- (5) 実習を伴う授業等は、体育と同様の対応を行う。また、共用の教材・教具・機器や設備などを清潔に保ち、使用後は手洗いを徹底する。
- (6) 調理実習では、1つの調理台につき2名以内で行い、食事の際は対面にならないようにする。
- (7) マスクを着用していると、喉の渇きに気づきにくいいため、必要に応じて水分や塩分の補給ができる環境を整える。
- (8) 教職員はマスクをマウスシールド（透明マスク）へ変更するなど、飛沫感染防止に心がけて熱中症対策を行う。

4 昼食時

- (1) 放送による注意喚起（教室の換気・手を洗ってから食べる・密集しない等）をする。
- (2) 飲食は必ず教室で行い、飲み回し等をしないよう注意喚起する。

5 部活動

- (1) 十分な準備運動を行うとともに、身体に過度な負担がかかる運動を避けるなど、怪我の防止に努める。
- (2) 屋内で実施する部活動については、こまめな換気を行う。
- (3) 手洗いとうがいを徹底し、手で顔を触らないように注意喚起する。
- (4) 対外的な練習試合を実施する場合は、県内や地域の感染状況等を見極めながら、事前に許可を得た上で実施する。
- (5) 気温・湿度などの環境条件に十分配慮するとともに、こまめな水分・塩分の確保や休憩時間の確保を確実にを行う。

6 下校後

教室、手すり、ドアノブ、スイッチ等の消毒を1日1回以上行う。

連絡先 教頭 福地
TEL 0587-32-3168